

十一月十一日 電池の日

十一月十一日は、漢数字で書くと「十一月十一日」(マインアス) + 「電池」 - 「イナス」となり、電池の正・負極を表してこのように見えることから、一九八六(昭和六十)年に日本乾電池工業会(電池工業会)がこの日を「電池の日」と制定しました。

「電池についての正しい知識と理解を広め、常に正しく使ってもらおう」という意義が込められ、この日を機会に身近な電池や応用機器の点検、いざという時に必要な常備品の見直しを呼びかけています。

日常生活でよく使われる一般的な乾電池としては、マンガン乾電池、アルカリ(マンガン)乾電池

この日、何の日?

電池としては、マン

ガン乾電池、アルカリ

(マンガン)乾電池



お知らせ!

カレンダーが出来上がりました。

予定などが書き込める大変便利なカレンダーです。(B3サイズ)
近くにお越しの際はお立ち寄り頂きお待ちください。

数に限りがあります。お早めに!!

一家庭につき1部とさせていただきます。(100部作成)

規定数に達しましたのでbingo終了です。

bingoカードをお持ちください!!
粗品プレゼントあります。

リフォームもできる身近な水道屋さん

浅間設備工業株式会社

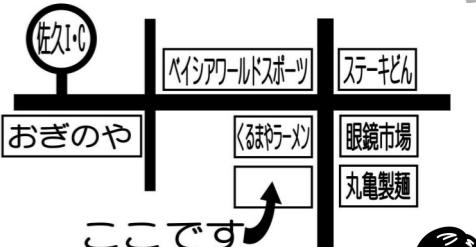
0267-67-4130

FAX 0267-68-5831

E-mail info@asamasetubi.co.jp

<http://www.asamasetubi.co.jp>

住所 佐久市岩村田住吉町159-3 (佐久I.C東信号横)



いつでも
お越しください

にこにこ新聞 日々

平成27年11・12月号 第75号
樂々
浅間設備工業(株)発行

「青春」と書いた言葉は、一般的に「人生において、若くて未熟ながらも、元氣で力にあふれた時代」を描く言葉として使われます。しかし元々は、季節の「春」そのものを表す言葉でした。

古代中国において、春に「青」という色が当てられていましたことの名残で、実は、夏・秋・冬も、それぞれ色を組み合わせて呼んでいました。

夏は「朱夏(しゆか)」=赤、秋は「白秋(はくしゅか)」=白、冬は「玄冬(げんとう)」=黒です。

(なお、陰陽五行思想における4つに加え、立夏、立秋、立冬、立春の前、それぞれ18日間を「土用」とし、色は黄色を割り当てます。)

十代の、人生の真っ盛りの年代と書われています。子育てをし、与えられ仕事をバリバリこなす、自分の人生の基盤

といふ方がされるよう

いては、この4つに加え、立夏、立秋、立冬、立春の前、それぞれ18日間を「土用」とし、色は黄色を割り当てます。)

ができる世代、といふ説もあります。

が、自分のためだけに遭うこと

じょうつか?

に、(暗いイメージ)といふよ

り)非常に深い味わいがあるものとして考えられています。心静かに過ごしながらも、自らの生涯を振り返りながら、人生の総仕上げをする時期と言えます。

「青春」以外の言葉は、あまり一般的ではないかもしませんが、言われてみれば、自分自身を起し、独立していこうための準備の期間とも言える時期。希望や挫折など様々な感情の中に入り、活きていく道を試行錯誤していける年代です。

が、このから筆名をつけました。子育てや仕事から解放され、それまで築いてきたものを今まで築いてきたものになりました。あなたの人生は今、どの季節で

